

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第90期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社G S Iクレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼社長執行役員 吉 永 直 明
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 窪 田 満
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 窪 田 満
【縦覧に供する場所】	株式会社G S Iクレオス大阪支店 （大阪市中央区大手前一丁目7番31号（OMMビル）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第2四半期 連結累計期間	第90期 第2四半期 連結累計期間	第89期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	68,889	56,642	138,487
経常利益 (百万円)	1,043	581	1,661
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	736	578	1,152
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	560	444	455
純資産額 (百万円)	19,250	19,195	18,991
総資産額 (百万円)	62,731	58,530	61,618
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	114.11	91.54	178.92
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	30.69	32.80	30.82
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,479	737	2,199
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	119	511	196
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	2,029	55	2,131
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	11,915	12,517	12,437

回次	第89期 第2四半期 連結会計期間	第90期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	67.77	50.61

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態および経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復を続けたものの、海外経済は、長引く米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速などにより、低迷が続いております。

こうした中、当社グループは、2021年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画で掲げた、「海外売上高の拡大」や「収益性の向上」などの重点施策に取り組んでまいりましたが、当上半期におきましては、天候不順や低調な海外市場の影響を受ける結果となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比12,246百万円、17.8%減収の56,642百万円となりました。売上総利益は、前年同期比449百万円、6.8%減益の6,197百万円、営業利益は、前年同期比383百万円、38.4%減益の614百万円、経常利益は、前年同期比461百万円、44.3%減益の581百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比157百万円、21.4%減益の578百万円となりました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益の通期予想につきましては、概ね計画通りに進捗しております。

また、第1四半期連結会計期間の期首から税効果会計における企業分類を変更したことなどにより、法人税等調整額を利益項目として130百万円計上しております。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

繊維関連事業

インナー用機能糸・生地の海外販売およびパンスト・タイツ用加工糸の取引が減少しました。

婦人ファンデーションの取引が前年並みに推移し、中国におけるインナー製品のOEM取引は増加しました。

欧米向けのアウター用生地の取引は増加しましたが、アウター製品のOEM取引は低調に推移しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は、前年同期比9,781百万円、18.1%減収の44,204百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比371百万円、60.3%減益の244百万円となりました。

工業製品関連事業

塗料原料の取引、米国向けの化学品の取引及びフィルム関連の取引が低調に推移しました。

「環境関連事業の拡大」に向けて、前期から開始した生分解性プラスチック関連および再生プラスチック関連の取引が好調に推移しました。

中国製半導体基板および機械装置の取引は減少しました。

ホビー関連の取引が増加し、化粧品原料の取引は前年並みに推移しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は、前年同期比2,465百万円、16.5%減収の12,437百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比30百万円、5.2%減益の567百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の減少などにより、前期末比3,088百万円減少の58,530百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、前期末比3,292百万円減少の39,334百万円となりました。

純資産は、親会社に帰属する四半期純利益による株主資本の増加などにより、前期末比203百万円増加の19,195百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、売上債権の減少など営業活動による収入や、貸付による支出など投資活動による支出、配当金の支払額など財務活動による支出などの要因に、換算差額 91百万円を加味した結果、全体では前期末に比べ79百万円増加の12,517百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは737百万円の増加（前年同期比742百万円の収入の減少）となりました。主な要因は売上債権の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは511百万円の減少（前年同期比391百万円の支出の増加）となりました。主な要因は貸付による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは55百万円の減少(前年同期比1,974百万円の支出の減少)となりました。
主な要因は配当金の支払額によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,464,971	6,464,971	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	6,464,971	6,464,971	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	6,464,971	-	7,186	-	913

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
グンゼ株式会社	京都府綾部市青野町膳所1番地	932	14.74
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	310	4.92
日本生命保険相互会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	232	3.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	205	3.24
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	198	3.13
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	189	3.00
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO(常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	東京都新宿区新宿六丁目27番30号	181	2.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	177	2.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	99	1.57
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	92	1.47
計	-	2,620	41.42

(注) 所有株式数の千株未満は切り捨てて表示しております。

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 139,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,286,800	62,868	-
単元未満株式	普通株式 38,771	-	-
発行済株式総数	6,464,971	-	-
総株主の議決権	-	62,868	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式16株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社GSイレオス	東京都千代田区九段南二丁目3番1号	139,400	-	139,400	2.16
計	-	139,400	-	139,400	2.16

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,437	12,517
受取手形及び売掛金	3 28,675	24,977
商品	9,195	9,535
未着商品	339	85
その他	1,138	1,130
貸倒引当金	209	207
流動資産合計	51,577	48,037
固定資産		
有形固定資産	4,466	4,450
無形固定資産	520	477
投資その他の資産	4 5,054	4 5,564
固定資産合計	10,041	10,492
資産合計	61,618	58,530
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 24,283	21,099
短期借入金	13,777	14,120
1年内返済予定の長期借入金	232	173
未払法人税等	247	164
引当金	488	411
その他	2,805	2,655
流動負債合計	41,834	38,623
固定負債		
長期借入金	217	135
退職給付に係る負債	130	128
その他	443	445
固定負債合計	791	710
負債合計	42,626	39,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	855
利益剰余金	10,998	11,323
自己株式	177	166
株主資本合計	18,862	19,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	63
繰延ヘッジ損益	13	5
為替換算調整勘定	3	138
退職給付に係る調整累計額	80	75
その他の包括利益累計額合計	129	4
純資産合計	18,991	19,195
負債純資産合計	61,618	58,530

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	68,889	56,642
売上原価	62,242	50,444
売上総利益	6,647	6,197
販売費及び一般管理費	15,650	15,583
営業利益	997	614
営業外収益		
受取利息	10	49
受取配当金	39	44
為替差益	56	-
その他	49	47
営業外収益合計	156	141
営業外費用		
支払利息	87	92
為替差損	-	30
その他	22	50
営業外費用合計	109	174
経常利益	1,043	581
特別利益		
固定資産売却益	0	0
出資金売却益	-	30
特別利益合計	0	30
特別損失		
固定資産除却損	2	0
ゴルフ会員権売却損	4	-
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	1,037	612
法人税、住民税及び事業税	282	164
法人税等調整額	19	130
法人税等合計	301	33
四半期純利益	736	578
親会社株主に帰属する四半期純利益	736	578

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	736	578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	2
繰延ヘッジ損益	44	8
為替換算調整勘定	140	134
退職給付に係る調整額	3	5
その他の包括利益合計	176	133
四半期包括利益	560	444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	560	444

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,037	612
減価償却費	138	156
貸倒引当金の増減額(は減少)	4	28
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	50	94
支払利息	87	92
為替差損益(は益)	0	20
有形固定資産売却損益(は益)	-	0
有形固定資産除却損	2	0
出資金売却損益(は益)	-	30
ゴルフ会員権売却損益(は益)	4	-
売上債権の増減額(は増加)	1,562	3,216
たな卸資産の増減額(は増加)	181	161
その他の資産の増減額(は増加)	25	81
仕入債務の増減額(は減少)	1,958	2,778
その他の負債の増減額(は減少)	60	132
その他	22	21
小計	1,858	989
利息及び配当金の受取額	50	88
利息の支払額	88	93
法人税等の支払額	341	246
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,479	737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	56	58
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	1	-
投資有価証券の取得による支出	93	6
投資有価証券の売却による収入	7	-
出資金の払込による支出	11	-
出資金の売却による収入	27	8
貸付けによる支出	-	476
貸付金の回収による収入	15	20
その他	7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	119	511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,660	372
長期借入れによる収入	50	-
長期借入金の返済による支出	113	141
リース債務の返済による支出	79	33
配当金の支払額	225	252
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,029	55
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	91
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	720	79
現金及び現金同等物の期首残高	12,636	12,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 11,915	1 12,517

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

(1) 連結会社以外の会社の借入金に対する債務保証

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
日神工業株式会社	50百万円	50百万円

(2) 取引先の営業取引に関する契約履行保証

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
Milwaukee Composites, Inc.	- 百万円	505百万円

2 手形割引高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形割引高	96百万円	59百万円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	319百万円	- 百万円
支払手形	431	-

4 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
投資その他の資産	246百万円	275百万円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
物流費	723百万円	678百万円
販売諸掛	888	892
貸倒引当金繰入額	15	11
従業員給与及び賞与	1,210	1,200
賞与引当金繰入額	367	374
退職給付費用	80	87

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	11,915百万円	12,517百万円
現金及び現金同等物	11,915	12,517

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	225	35	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	252	40	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,985	14,903	68,889	-	68,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	53,985	14,903	68,889	-	68,889
セグメント利益	616	598	1,214	217	997

(注) 1 セグメント利益の調整額 217百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用 227百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	44,204	12,437	56,642	-	56,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	0	0	-
計	44,204	12,438	56,642	0	56,642
セグメント利益	244	567	811	197	614

(注) 1 セグメント利益の調整額 197百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用 203百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引関係は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。また、ヘッジ会計を適用しておりますので、注記の対象から除いております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	114円11銭	91円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	736	578
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	736	578
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,451	6,318

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月7日

株式会社G S Iクレオス
取締役会御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員 公認会計士 横山 博 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 小山 貴久 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S Iクレオスの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S Iクレオス及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。